



本郷台中だより

～学ぶ楽しさを知り、夢や希望を育む学校～

令和6年度第8号

令和6年10月7日

文京区立本郷台中学校

校長 江熊 秀昭

楽学両道～古都に刻もう 私たちの歴史を～

修学旅行実行委員長

みなさん、修学旅行は楽しめましたか？

それぞれ楽しかったこと、うまく行かなかったこと、印象に残ったことなど感じたことはさまざまだと思います。また、修学旅行に行く前にそれぞれ決めたテーマについての関心を深めていく中で、新しいことに気づけた人もいないのでしょうか。

みなさん分かっていると思いますが、修学旅行が終わったからと言って、学校生活で気を抜かず、これからある学習発表会や高校入試に向け、意識を変えていくことを忘れてはなりません。さらに、これからは2年生、1年生が主体となって動くことも増えます。これまでの先輩から受け継がれてきた台中の伝統を伝えることを意識しながら、自身の学習や、やらなければならないことを集中して進めていきましょう。

修学旅行に限りませんが、私たちがこのような学校生活を楽しめているのは、お家の方や地域の方、学校の先生方などのお陰です。いつでも感謝を忘れずに自分にできることがあれば進んでやっていきましょう。特にお家の方には、気にしていなくても一番お世話になっています、このような校外学習や、何気ないことでもゆっくり話していくこともちょっとした恩返しになります。少しでもいいので時間を作ってゆっくりお話しすることをお勧めします。

頼もしく 誇らしい 三日間

校長 江熊 秀昭

3年生は9月17日～19日に修学旅行で奈良・京都を訪れました。17日は暑さで奈良公園の鹿もグッタリしている中、東大寺、春日大社、興福寺などを班ごとに見学し、京都の旅館へ向かいました。18日はバスや地下鉄を利用して清水寺、金閣、銀閣など、19日はタクシーで嵐山や伏見稲荷大社などをそれぞれ班行動で見学しました。

37度近い猛暑の中でしたが存分に楽しみ、学んだ3日間でした。生徒と教員の信頼関係があるからこそ服装が乱れることなく、節度ある言動で行動できました。そんな生徒を頼もしく、また、とても誇りに感じました。